

令和7年度春学期授業アンケート結果について

【講 評】

授業アンケートは令和5年度春学期よりアセスメンターを用いた Web 回答方式にて実施しています。授業内容・運営については5段階評価の8項目が設定され、なかでも 問8は“授業満足度”を問う設問となっており、「優秀教育教員」の選定基準となっております。また、ディプロマポリシーに基づく学修成果の自己評価を学生に習慣づけさせるため、設問11は授業を通じて修得できた学士力を問うマルチアンサー設問となっています。

本報告においては、授業満足度を示す設問8の数値を、科目群ごとに各前年同期と比較分析していきます。

まず今期の回答率につきましては、全科目で69.82%と前年同期(65.43%)から4.4ポイント上昇し、70%台にあとわずかの水準にまで回復しました。

今回目立ったのは、前回全体平均を大きく下回っていた科目群で大幅な回答率の上昇がみられたことです。特に留学生科目は75.63%と前年同期(55.33%)より+20ポイント、実習科目は61.39%で前年同期(21.43)より+40ポイントといずれも飛躍的な上昇をみました。

さらなる回答率上昇には講義をご担当の先生方のお呼びかけが何よりも効果的であり、今後におきましても学生への周知徹底へのご協力よろしくお願いいたします。

表1 質問項目 (2023～)

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 授業の到達目標（テーマや目的）は毎回明確に示されていませんか。 |
| 問2 | 授業は学生の理解度や学修の進捗度を確かめながら進められていましたか（授業中または授業全体を通して）。 |
| 問3 | 教員の声や話し方は聞き取りやすかったと思いますか。 |
| 問4 | 教員は教えることに熱意・情熱を持って授業に取り組んでいましたか。 |
| 問5 | 教員は授業を妨害する私語や途中退室などに適切な処置をとっていましたか。 |
| 問6 | 教員は課題や小テストに対するフィードバックや質問に対する回答に努めていたと思いますか。 |
| 問7 | この授業から学修への刺激や触発を受けることが多かったと思いますか。 |
| 問8 | この授業を受けて満足しましたか。 |
| 問9 | あなたはこの授業1回に対して、予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか。 |
| 問10 | 教員は授業開始時間を守っていましたか。／教員は授業開始時間までに授業資料や課題を準備していましたか。 |
| 問11 | この授業で身に付いたと思う学士力があれば選んでください。（複数回答可） |
| 問12 | この授業について、良かったと思うことがあれば教えてください。教員にとって大変参考になります。なお、誹謗中傷等は記入しないでください。 |
| 問13 | この授業について、改善すべきと思うことがあれば記入してください。これも教員にとって大変参考になります。なお、誹謗中傷等は記入しないでください。 |

表 2 アンケート実施科目全体の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 333 科目	14,768	10,311	69.82	4.44	4.41	4.44	4.49	4.42	4.43	4.36	4.40
2024 春 333 科目	15,636	10,231	65.43	4.20	4.12	4.20	4.22	4.17	4.16	4.09	4.16

2023 年→2024 年度春学期では回答率が 7.5 ポイントの大幅下落となりましたが、今回は学生への周知が効果を挙げ 69.82%まで回復しました。全項目で前年同期比 0.2 ポイント前後の高い上昇を示しています。

表 3 共通教育科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 58 科目	4,032	2,771	69.20	4.35 (4.44)	4.26 (4.41)	4.34 (4.44)	4.39 (4.49)	4.28 (4.42)	4.30 (4.43)	4.16 (4.36)	4.29 (4.40)
2024 春 55 科目	4,233	2,778	67.85	4.35 (4.20)	4.24 (4.12)	4.34 (4.20)	4.37 (4.22)	4.34 (4.17)	4.34 (4.16)	4.16 (4.09)	4.26 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

共通教育科目では、回答率は 1.5%ほど上昇しました。全設問ともに数値は前回とほぼ同じ水準となっております。

表 4 外国語科目（英語必修科目）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 43 科目	976	689	70.24	4.39 (4.44)	4.37 (4.41)	4.38 (4.44)	4.45 (4.49)	4.44 (4.42)	4.38 (4.43)	4.25 (4.36)	4.40 (4.40)
2024 春 43 科目	1,055	763	76.22	4.38 (4.20)	4.39 (4.12)	4.42 (4.20)	4.54 (4.22)	4.46 (4.17)	4.42 (4.16)	4.31 (4.09)	4.41 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

外国語科目（英語必修科目）は前回より回収率は 6.2 ポイントの下落となりました。多くの項目で前年同期より 0.1～1 ポイント程度下落しております。

表 5 外国語科目（選択科目）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 26 科目	846	561	64.15	4.35 (4.44)	4.36 (4.41)	4.42 (4.44)	4.47 (4.49)	4.38 (4.42)	4.41 (4.43)	4.29 (4.36)	4.39 (4.40)
2024 春 24 科目	783	505	64.70	4.40 (4.20)	4.35 (4.12)	4.42 (4.20)	4.47 (4.22)	4.40 (4.17)	4.42 (4.16)	4.36 (4.09)	4.43 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

外国語科目（選択科目）の回答率は前回からわずかに下落しました。各設問の数値は前回からほぼ変わりません。

表 6 留学生科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 3 科目	66	50	75.63	4.72 (4.44)	4.68 (4.41)	4.73 (4.44)	4.85 (4.49)	4.72 (4.42)	4.69 (4.43)	4.72 (4.36)	4.73 (4.40)
2024 春 3 科目	49	23	55.33	4.55 (4.20)	4.58 (4.12)	4.72 (4.20)	4.72 (4.22)	4.65 (4.17)	4.68 (4.16)	4.68 (4.09)	4.72 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

留学生科目は回答率が 20 ポイントと飛躍的な上昇をみました。Q8 の数値はほぼ横ばいですが、Q1(授業の到達目標の明示)は 0.2 ポイントの大幅上昇となっています。

表 7 法学部専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 35 科目	2,194	1,755	79.16	4.39 (4.44)	4.32 (4.41)	4.38 (4.44)	4.44 (4.49)	4.38 (4.42)	4.37 (4.43)	4.28 (4.36)	4.35 (4.40)
2024 春 38 科目	2,456	1,925	80.64	4.37 (4.20)	4.25 (4.12)	4.33 (4.20)	4.37 (4.22)	4.29 (4.17)	4.35 (4.16)	4.18 (4.09)	4.24 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

法学部専門科目は、回答率は 1.5 ポイント減で 80%をわずかに割りましたが、依然として極めて高い回収率を達成しています。Q8 は前年同期より 0.1 ポイント上昇しています。

表 8 現代ビジネス学部専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 65 科目	5,371	3,409	61.90	4.40 (4.44)	4.33 (4.41)	4.38 (4.44)	4.41 (4.49)	4.41 (4.42)	4.39 (4.43)	4.30 (4.36)	4.34 (4.40)
2024 春 66 科目	5,566	3,177	57.78	4.34 (4.20)	4.22 (4.12)	4.28 (4.20)	4.33 (4.22)	4.28 (4.17)	4.28 (4.16)	4.18 (4.09)	4.23 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

現代ビジネス学部専門科目は回答率が前年同期より 4.1 ポイント上昇し 60%台を回復しました。各指標においては、大半の設問で前年同期より 0.1 ポイント程度の大きな上昇がみられました。

表 9 資格科目（スポーツ指導員科目・教職課程・図書館学課程）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 19 科目	189	149	82.91	4.58 (4.44)	4.57 (4.41)	4.52 (4.44)	4.56 (4.49)	4.60 (4.42)	4.60 (4.43)	4.44 (4.36)	4.50 (4.40)
2024 春 19 科目	204	158	73.17	4.62 (4.20)	4.52 (4.12)	4.54 (4.20)	4.53 (4.22)	4.55 (4.17)	4.42 (4.16)	4.50 (4.09)	4.45 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

資格科目の回答率は前年同期から約 10 ポイントと大幅な上昇をみせ、82.91%と全カテゴリーで最高となりました。各設問の数値は 4.5～4.6 を示す項目が多く極めて高い水準となっています。

表 10 実習科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 2 科目	58	32	61.39	4.38 (4.44)	4.35 (4.41)	4.27 (4.44)	4.28 (4.49)	4.13 (4.42)	4.25 (4.43)	4.38 (4.36)	4.06 (4.40)
2024 春 2 科目	47	15	21.43	2.30 (4.20)	2.10 (4.12)	2.20 (4.20)	2.13 (4.22)	2.10 (4.17)	2.03 (4.16)	2.00 (4.09)	2.20 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

実習科目については、実施時期と回収時期のラグもあり前年同期は 20%台に落ち込んでいましたが、担当の先生方の学生への呼びかけにより回答率は 61.39%へと 40 ポイントの飛躍的上昇を示しました。各設問の指標も他のカテゴリーと遜色ない値にまで回復しております。

表 11 演習科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8
2025 春 82 科目	1,036	895	75.54	4.44 (4.44)	4.47 (4.41)	4.58 (4.44)	4.53 (4.49)	4.49 (4.42)	4.51 (4.43)	4.39 (4.36)	4.54 (4.40)
2024 春 83 科目	1,243	887	69.14	4.50 (4.20)	4.48 (4.12)	4.57 (4.20)	4.55 (4.22)	4.47 (4.17)	4.52 (4.16)	4.41 (4.09)	4.52 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

演習科目の回答率は前年同期比で 6.4 ポイント上昇しました。各設問の数値はほぼ前年同期から変化がありません。一方で、専門演習についてはクラスごとの回答率や各指標の数値には大きなばらつきが見られます。

表 12 学修時間及び学修行動について

	全くして いない	30 分 程度	1 時間 程度	2 時間 程度	3 時間 以上	平均 (分)	学修したと回 答した学生の 平均 (分)
2017 春	56.9 %	24.8 %	10.7 %	3.9 %	3.7 %	25.22 分	58.47 分
2017 秋	55.6 %	24.6 %	11.5 %	4.2 %	4.1 %	26.61 分	59.99 分
2018 春	48.8 %	28.7 %	12.5 %	4.3 %	5.6 %	31.45 分	61.47 分
2018 秋	53.4 %	25.8 %	12.3 %	4.2 %	4.4 %	27.98 分	59.99 分
2019 春	52.4 %	28.2 %	11.7 %	3.9 %	3.7 %	26.88 分	56.54 分
2019 秋	56.2 %	26.0 %	11.4 %	3.5 %	2.9 %	24.04 分	54.94 分
2020 春	26.1 %	38.8 %	25.5 %	6.8 %	2.8 %	40.15 分	54.33 分
2020 秋	26.6 %	40.8 %	23.5 %	5.9 %	3.1 %	39.02 分	53.20 分
2021 春	29.5 %	41.5 %	22.5 %	4.4 %	2.1 %	35.02 分	49.68 分
2021 秋	30.2 %	38.8 %	23.8 %	5.1 %	2.1 %	35.85 分	51.35 分
2022 春	29.5 %	41.5 %	22.5 %	4.4 %	2.1 %	35.02 分	49.68 分
2022 秋	39.5 %	38.2 %	16.5 %	3.6 %	2.1 %	29.57 分	48.88 分
2023 春	45.1 %	39.9 %	12.8 %	1.5 %	0.6 %	22.92 分	41.78 分
2023 秋	45.3 %	39.0 %	12.7 %	1.7 %	1.1 %	23.48 分	42.96 分
2024 春	48.1 %	39.2 %	10.4 %	1.3 %	1.0 %	21.34 分	41.16 分
2024 秋	49.2 %	36.8 %	11.5 %	1.5 %	1.0 %	21.55 分	42.44 分

2025 春	48.8 %	36.2 %	11.8 %	1.9 %	1.1 %	22.37 分	43.73 分
--------	--------	--------	--------	-------	-------	---------	---------

※問 9. あなたはこの授業 1 回に対して、予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか（全体に対する回答者の割合）。

前回の 2024 年度秋学期では、講義外での学修活動を「全くしていない」の比率(49.2%)、学修時間平均 21.55 分がそれぞれコロナ禍に伴う遠隔講義移行期明け以降では最も良くない数値となっておりましたが、今期はそこからは若干改善しております。

とはいえ、全受講生の約半数近く(48.8%)が講義外での学修活動を「全くしていない」と回答しております。引き続き、受講生に授業の事前事後の学習を行わせるような工夫が求められているとともに、定期試験や最終レポート作成なども考慮して回答を行うよう周知の必要性を感じます。

表 13 授業開始時間、授業資料や課題の準備について

	教養	英語(必修)	外国語	留学生	法学部専門	現代ビジネス学部専門	演習	資格	実習
2025 春	4.52	4.59	4.52	4.79	4.59	4.55	4.60	4.70	4.31
2024 春	4.55	4.62	4.60	4.74	4.53	4.48	4.62	4.61	2.33

※問 10. 教員は授業開始時間を守っていましたか。/教員は授業開始時間までに授業資料や課題を準備していましたか。

本設問においては、全体的に高い数値となっており、時間管理や授業コンテンツの提示において、各先生方が学生にストレスを感じさせないよう業務を遂行されている現れとなっております。

表 14 授業で身に付いたと思う学士力

科目群名	全体	共通教育 科目	外国語 (英語必修 科目)	外国語 (選択科目)	留学生科目	法学部専門 科目	現代ビジネ ス学部 専門科目	資格科目	実習科目	演習科目
科目数	157	23	4	10	3	29	59	19	3	7
回答数	5707	1632	420	319	40	908	1712	81	16	579
当設問回答率	40%	40%	43%	38%	61%	41%	32%	43%	27%	50%
(1) 人文・社会・ 自然に関する理解	29%	30%	16%	19%	43%	23%	40%	33%	56%	19%
(2) 専門知識	61%	48%	41%	61%	38%	73%	80%	60%	56%	35%
(3) 他者を理解 し、尊重する姿勢	22%	19%	15%	11%	35%	10%	31%	22%	44%	31%
(4) 取り組み続け る態度	29%	21%	34%	33%	38%	20%	35%	28%	56%	38%
(5) 論理的思考力	32%	30%	13%	11%	30%	40%	39%	33%	25%	28%
(6) 問題解決力	31%	25%	19%	16%	38%	32%	42%	26%	44%	35%
(7) チームワー ク・リーダーシッ プ	20%	10%	30%	9%	25%	5%	27%	19%	63%	49%
(8) コミュニケー ションスキル	27%	14%	52%	41%	35%	3%	34%	30%	63%	52%
(9) データに基づ く分析力	21%	22%	6%	3%	18%	11%	30%	17%	25%	26%
(10) 情報リテラ シー	15%	17%	5%	2%	13%	11%	20%	12%	25%	16%

上記表 14 は設問 11「この授業で身に付いたと思う学士力」を複数回答で尋ねる設問において、科目群ごとに各学士力の総回答数を集計し、それぞれの回答者数で割ったものです。なお、学士力の各項目につきましては、今学期よりディプロマ・ポリシー、シラバスに掲載されている 10 の項目と統一されています。

全体で 40% の回答者から授業を通して身についた力についての回答がありました。一番高かったのは「2 専門知識」で「現代ビジネス学部」では 80%、「法学部」73% と極めて高い選択率となっています。それ以外の項目の数値は 20～30% に集中し、「1 人文・社会・自然に関する理解」は全体では 29% で、「共通教育科目」においても 29% にとどまる一方で、「9 データに基づく分析力」

「10 情報リテラシー」も一定の選択率を集めました。

全項目にわたって高いのが「実習科目」「演習科目」であり、「留学生科目」「現代ビジネス科目」も高い傾向にあります。ただし、「演習科目」「現代ビジネス」「共通教育科目」では 1～10 全てを選んで回答者が目立っているが、これをどう評価するかが一つの課題となります。また、「現代ビジネス学部」は対照的な内容の 2 学部を合算した学部の数値はバランスが良くなっていますが、学生の受講するカリキュラムは学科単位で分割されていることを考慮する必要があります。

「外国語」「法学部」は項目ごとの選択率にメリハリがあり、カリキュラムや科目の特性が反映されている、回答者が設問の意図を理解して答えている割合が高いとも考えられます。

今回は全般的に「共通教育」の数値が高い傾向にありました。これに対して両学部の専門科目群は (6) 以降の項目の数値が伸び悩みました。一つには 1 年生の数値が高い傾向にあるように思われます。また、学士力の設定変更に伴う技術的な要因も考えられます。カリキュラム全体で多様な能力を学生に修得させるための講義内容や・学生へのアピール方法について、各科目担当者、科目群グループ、学部・学科での改良・改善の取り組みを引き続きよろしくお願い申し上げます。

以 上